

## 第 52 回全日本社会人卓球選手権大会 実施要項

- (1) 名 称 第 52 回全日本社会人卓球選手権大会
- (2) 期 日 平成 30 年 9 月 15 日 (土) ～17 日 (月・祝)
- (3) 会 場 アミノバリューホール (鳴門県民体育館)  
JR「鳴門」駅 徒歩約 16 分  
〒772-0017 徳島県鳴門市撫養町立岩字四枚 61  
TEL : 088-685-3131
- (4) 主 催 公益財団法人日本卓球協会
- (5) 主 管 徳島県卓球協会、鳴門市卓球協会
- (6) 後 援 徳島県、徳島県教育委員会、(公財) 徳島県体育協会、鳴門市、鳴門市教育委員会、NHK 徳島放送局、  
(予定) 徳島新聞社、四国放送
- (7) 競技種目 ①男子シングルス ②女子シングルス  
③男子ダブルス ④女子ダブルス
- (8) 試合方法 ①各種目ともトーナメント方式による。  
②男女シングルスのみ推薦選手のうち 16 人はベスト 32 決定戦よりスーパーシードとして出場する。  
(ダブルスのスーパーシードは設けない)  
③男女シングルスは準々決勝より 7 ゲームマッチ、他は全て 5 ゲームマッチとする。
- (9) 競技日程 9 月 15 日 (土) 9:00～ 開会式  
9:30～ 男女ダブルス (1～5 回戦)  
男女シングルス (1 回戦の一部)  
16 日 (日) 9:00～ 男女シングルス (1～5 回戦)  
男女ダブルス (準決勝・決勝)  
17 日 (月) 9:00～ 男女シングルス (6 回戦～決勝)  
15:00～ 閉会式
- (10) 競技ルール ①現行の日本卓球ルールによる。  
②卓球台はグリーンまたはブルーを使用する。  
③使用球は、J T T A 公認プラスチック球 ; 40 mm ホワイトのみとする。  
④同じユニフォームによる対戦をさけるため、2 種類以上のユニフォームを持参すること。  
⑤ゼッケンは平成 30 年度 (公財) 日本卓球協会指定のものを使用すること。  
⑥ラバーをラケット本体に貼る場合、揮発性有機溶剤を含んでいないものとして J T T A が公認した接着剤のみを使用すること。
- (11) 参加資格 ①参加者は、当該都道府県に居住または勤務している者で平成 30 年度 (公財) 日本卓球協会選手登録者でかつ、段級制規程 (注 1 参照) に定められた有段者であること。  
②日本学生卓球連盟及び全国高等学校体育連盟に登録している者は出場できない。  
③学校教育法第 1 条に規定する学校に在籍する学生及び生徒 (大学院生は除く) は出場できない。  
④勤労を生活の主としている者で、大学、短期大学において夜間授業を行う学部、通信による教育を行う学部<sup>に</sup>在籍、及び、高等学校において定時制・通信制の課程を履修しているものは参加できる。  
⑤本年度の全日本卓球選手権大会 (マスターズの部) への重複出場は禁止する。ただし、マスターズの部に参加した者でも、この大会の男女ダブルスには出場することが出来る。  
⑥各都道府県の代表者選出方法は各加盟団体に一任する。  
⑦外国籍選手は日本で出生して引き続き 3 年以上日本に在住している者、あるいは、引き続き 10 年以上日本に在住している者は、男女シングルスに出場できる。ダブルス種目については出場資格制限はない。

⑧無条件参加選手（別表1参照）

◎シングルの部

- (イ) 平成 29 年度全日本社会人卓球選手権大会  
男・女シングルスベスト 16 の者。
- (ロ) 平成 29 年度全日本卓球選手権大会（一般の部）  
男・女シングルスベスト 16 の者。
- (ハ) クラブ委員会からの推薦者男・女各 2 名  
平成 30 年度全日本クラブ選手権大会終了後に決定する。

◎ダブルスの部

- (イ) 平成 29 年度全日本社会人卓球選手権大会  
男・女ダブルスベスト 8 の組。
- (ロ) 平成 29 年度全日本卓球選手権大会  
男・女ダブルスベスト 8 の組

(12) 参加人員 表1

区 分	種 目  都 道 府 県 名	男	女	男	女
		子 シ ン グ ル ス	子 シ ン グ ル ス	子 ダ ブ ル ス	子 ダ ブ ル ス
1	徳島(開催地)、北海道、東京、愛知、福岡	10	10	5	5
2	埼玉、神奈川、静岡、京都	8	8	4	4
3	大阪、兵庫、岡山、長崎	6	6	3	3
4	岩手、秋田、山形、福島、茨城、栃木、群馬、千葉、山梨、新潟、長野、 富山、石川、三重、岐阜、滋賀、奈良、鳥取、島根、広島、山口、香川、 愛媛、高知、佐賀、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄	4	4	2	2
5	青森、宮城、福井、和歌山	2	2	1	1

区分1：開催県及び平成 29 年度日卓協一般男女選手登録人員上位 4 加盟団体

区分2：平成 29 年度日卓協一般男女選手登録人員 5～8 位加盟団体

区分3：平成 29 年度日卓協一般男女選手登録人員 9～12 位加盟団体

区分4：区分1・2・3・5に該当しない加盟団体

区分5：平成 29 年度日卓協一般男女選手登録人員が 1 位加盟団体の 1 割に満たない加盟団体

※一般男女登録人員は教職員、日本リーグの登録人員を含む

(13) 参加料 シングルス 1名 3,000 円

ダブルス 1組 4,000 円

(14) 申込方法 別紙参加申込書に必要事項を明記し、各都道府県加盟団体長捺印の上、下記宛申し込むこと。尚、参加料は現金書留又は振込にて（公財）日本卓球協会宛送金のこと。

（振込先：みずほ銀行 渋谷支店 当座 No.5337 公益財団法人 日本卓球協会）

（個人またはチームからの申込および参加料の送金はしないこと。必ず各都道府県がとりまとめて行うものとする。）

※できる限り、下記2ヶ所へEメールでもお申込みください。（メールアドレスは、申込書に記載。）

〔Ⅰ〕〒150-8050 東京都渋谷区神南1-1-1 岸記念体育会館内

（公財）日本卓球協会 宛

TEL: (03) 3481-2371、FAX: (03) 3481-2373

〔Ⅱ〕〒770-0944 徳島県徳島市南昭和町4丁目44-27 榎並 正人 気付

徳島県卓球協会 宛

TEL: (090) 9555-5314 FAX: (088) 625-3128

なお、大会申込システムを使用の場合は、通常通りシステム内容をメールまたは郵送、FAXで送付。

※前年度ランキング保持者等で無条件出場選手は加盟団体を通じて申し込むこと。また申込書にその旨を明記する事。

(15) 申込締切 ご自身が登録されている各都道府県卓球協会・連盟へお問合せください。

(16) 宿 泊 後日、旅行代理店より各都道府県の加盟団体へ連絡する。

- (17) その他
- ① 一旦申し込まれた選手の締切期日後の変更は原則として認めない。
  - ② やむを得ない事情で本大会を棄権する場合は、必ず各都道府県の加盟団体より主管地及び本会宛書面にて連絡すること。
  - ③ 開会式には原則として全員参加すること。
  - ④ 病気、事故に備えて、各自健康保険証を持参して下さい。けが等の場合には、可能な応急処置はしますが、各自の責任に帰することとします。
  - ⑤ 大会参加中、万一事故のあった場合は、本会の「会員お見舞い制度」の範囲内で対応いたします。
  - ⑥ 個人情報の取り扱いに関して  
大会参加に際して提供される個人情報は本大会活動に利用するものとし、それ以外の目的に利用することはありません。詳細につきましては本会ホームページにてご確認下さい。
  - ⑦ 本競技会は、日本アンチ・ドーピング規程が適用されます。

別表 1

第 51 回（平成 29 年度）全日本社会人卓球選手権大会による推薦者

男子シングルス		女子シングルス	
1	上田 仁 (東京) 協和発酵キリン	1	松澤茉里奈 (岐阜) 十六銀行
2	丹羽 孝希 (東京) スヴェンソン	2	鈴木 李茄 (茨城) 日立化成
3	平野 友樹 (東京) 協和発酵キリン	3	平 侑里香 (東京) サンリツ
4	高木和 卓 (東京) 東京アート	4	森蘭 美咲 (東京) 日立化成
5	笠原 弘光 (東京) 協和発酵キリン	5	平田 有貴 (静岡) アスモ
6	御内健太郎 (東京) シチズン時計	6	馬場 麻裕 (静岡) アスモ
7	松平 賢二 (東京) 協和発酵キリン	7	松平 志穂 (大阪) ミキハウス
8	軽部 隆介 (東京) シチズン時計	8	久野 理世 (岐阜) 十六銀行
	神 巧也 (東京) シチズン時計		森蘭 美月 (東京) サンリツ
	加藤 由行 (愛媛) フジ		土田 美佳 (広島) 中国電力
バ	時吉 佑一 (愛媛) ZEOS	バ	宋 恵佳 (広島) 中国電力
ス	高岡諒太郎 (東京) リコー	ス	田代 早紀 (大阪) 日本生命
ト	有延 大夢 (東京) リコー	ト	松本 優希 (東京) サンリツ
16	鹿屋 良平 (東京) リコー	16	平野 容子 (愛知) 豊田自動織機
	山本 勝也 (東京) リコー		天野 優 (東京) サンリツ
	飯野 弘義 (東京) T.O.M&卓球三昧		永尾 堯子 (静岡) アスモ
男子ダブルス		女子ダブルス	
1	{ 森田 侑樹 (東京) シチズン時計 神 巧也 (東京) シチズン時計	1	{ 土田 美佳 (広島) 中国電力 宋 恵佳 (広島) 中国電力
2	{ 張 一博 (東京) 東京アート 高木和 卓 (東京) 東京アート	2	{ 平田 有貴 (静岡) アスモ 永尾 堯子 (静岡) アスモ
3	{ 松下 海輝 (和歌山) 日鉄住金物流 藤村 友也 (和歌山) 日鉄住金物流	3	{ 加藤 知秋 (岐阜) 十六銀行 加藤 杏華 (岐阜) 十六銀行
4	{ 松平 賢二 (東京) 協和発酵キリン 森本 耕平 (東京) 協和発酵キリン	4	{ 大矢未早希 (東京) サンリツ 天野 優 (東京) サンリツ
5	{ 松生 直明 (東京) リコー 山本 勝也 (東京) リコー	5	{ 久野 理世 (岐阜) 十六銀行 大森 玲奈 (岐阜) 十六銀行
6	{ 北村 祐馬 (神奈川) 信号器材 北原 大輝 (神奈川) 信号器材	6	{ 三宅菜津美 (広島) 中国電力 成木 綾海 (広島) 中国電力
7	{ 横山 輝 (広島) 原田鋼業 徳島 剛 (広島) 原田鋼業	7	{ 土井みなみ (広島) 中国電力 土田 美紀 (広島) 中国電力
8	{ 大矢 英俊 (東京) 東京アート 王 凱 (東京) 東京アート	8	{ 平 真由香 (茨城) 日立化成 牛嶋 星羅 (茨城) 日立化成

平成 29 年度全日本卓球選手権大会「フキガ」による推薦者

男子シングルス				女子シングルス			
1	張本 智和	(東京)	JOCエリートアカデミー	1	伊藤 美誠	(大阪)	スターツSC
2	水谷 隼	(東京)	木下グループ	2	平野 美宇	(東京)	JOCエリートアカデミー/大原学園
3	森蘭 政崇	(東京)	明治大学	3	永尾 堯子	(静岡)	アスモ
4	松平 健太	(東京)	木下グループ	4	石川 佳純	(山口)	全農
5	渡辺 裕介	(高知)	明治大学	5	松澤茉莉奈	(岐阜)	十六銀行
6	松平 賢二	(東京)	協和発酵キリン	6	佐藤 瞳	(大阪)	ミキハウス
7	大島 祐哉	(東京)	木下グループ	7	森 さくら	(大阪)	日本生命
8	神 巧也	(東京)	シチズン時計	8	石垣 優香	(大阪)	日本生命
9	吉田 雅己	(東京)	協和発酵キリン	9	安藤みなみ	(東京)	専修大学
10	藤村 友也	(和歌山)	日鉄住金物流	10	芝田 沙季	(大阪)	ミキハウス
11	田添 健汰	(東京)	専修大学	11	早田 ひな	(福岡)	日本生命
12	上村 慶哉	(東京)	早稲田大学	12	大矢未早希	(東京)	サンリツ
13	龍崎 東寅	(東京)	明治大学	13	森蘭 美月	(東京)	サンリツ
14	岸川 聖也	(千葉)	ファースト	14	前田 美優	(大阪)	日本生命
15	定松 祐輔	(福岡)	中央大学	15	土井みなみ	(広島)	中国電力
16	田添 響	(福岡)	専修大学	16	橋本帆乃香	(大阪)	ミキハウス
男子ダブルス				女子ダブルス			
1	水谷 隼	(東京)	木下グループ	1	早田 ひな	(福岡)	日本生命
	大島 祐哉	(東京)	木下グループ		伊藤 美誠	(大阪)	スターツSC
2	上田 仁	(東京)	協和発酵キリン	2	梅村 優香	(大阪)	四天王寺高校
	吉田 雅己	(東京)	協和発酵キリン		塩見 真希	(大阪)	四天王寺高校
3	藤村 友也	(和歌山)	日鉄住金物流	3	田代 早紀	(大阪)	日本生命
	吉村 和弘	(愛知)	愛知工業大学		前田 美優	(大阪)	日本生命
4	宇田 幸矢	(東京)	JOCエリートアカデミー/大原学園	4	佐藤 瞳	(大阪)	ミキハウス
	張本 智和	(東京)	JOCエリートアカデミー		橋本帆乃香	(大阪)	ミキハウス
5	丹羽 孝希	(東京)	スヴェンソン	5	中尾 優子	(三重)	エクセディ
	酒井明日翔	(東京)	明治大学		樺澤 かえ	(三重)	エクセディ
6	松平 賢二	(東京)	協和発酵キリン	6	土田 美佳	(広島)	中国電力
	森本 耕平	(東京)	協和発酵キリン		宋 恵佳	(広島)	中国電力
7	張 一博	(東京)	東京アート	7	三宅菜津美	(広島)	中国電力
	高木和 卓	(東京)	東京アート		成木 綾海	(広島)	中国電力
8	森蘭 政崇	(東京)	明治大学	8	大矢未早希	(東京)	サンリツ
	渡辺 裕介	(東京)	明治大学		天野 優	(東京)	サンリツ

クラブ委員会推薦

男子シングルス		女子シングルス	
1	川端 友 (東京) 青嵐クラブ	1	酒井 詩音 (東京) MACHIDA BEATS
2	細野 裕人 (神奈川) リトルキングス	2	佐藤 陽香 (埼玉) KKSC

注 1) 段級制規程要約

段位取得について (平成 4 年 3 月の理事会・評議員会で承認された等級制(現段級制)規程改正に基づく)

- ①全日本社会人選手権大会 ②全日本選手権大会 (マスターズの部)  
 ③全日本選手権大会 (一般・ジュニア) ④全日本選手権大会 (団体の部) ⑤全日本実業団選手権大会

上記 5 大会に出場する者は、規程に基づく下記の段位を必ず取得していなければならない。この規程を無視した者は出場が取り消される場合があるが、翌年度の同一大会への参加はできない。ただし、全日本選手権 (マスターズの部) の 70 歳以上の種目については、下記の規程によらず、有段者であることを条件として、その段位を問わないものとする。

段位取得規程要約 (平成元年以降)	
(ア) 初出場者	初段
(イ) 同一大会 3 回目出場者	2 段
(ウ) 同一大会 5 回目出場者	3 段
(エ) 上記①及び③大会 (一般) 単または複ベスト 16 入り経験者	4 段
(オ) 上記①及び③大会 (一般) 単または複ベスト 4 入賞経験者	5 段
(カ) 上記①及び③大会 (一般) 単または複の優勝者	6 段